

市政に対する

一般質問



各質問議員の
QRコードからは、
それぞれの一般質問の
動画をご覧いただけます。



荒川 洋子 議員

持続可能な社会づくりとしての 結婚支援について

代表質問

本市にとって最大の課題は、少子化であり、それに伴う人口減少であります。結婚したくてもできない「不本意未婚」は若者のみならず全世代におよび、支援強化は持続可能な社会のために必要であると考えます。出会いの場を作るなど、結婚を望む人が結婚できる環境づくりについて、今後の市の取り組みについて伺います。

答弁

出会い結婚サポートセンターでは、少人数の婚活イベントなど、魅力あるイベントの開催に取り組んでまいります。さらに、女性登録者を増やすための積極的なPR活動を行うほか、男性登録者を対象としたコミュニケーション等のスキルアップ講座などを予定しています。また、栃木県と連携したイベントの開催や、「とちぎ結婚支援センター」の登録料の一部補助を継続し、出会いの場の創出と事業の充実に努めていきます。

- 市の持続可能な社会づくりとしての結婚支援について
- 広告付きAEDの導入について
- こども誰でも通園制度について
- ヤングケアラーへの支援充実について
- 教育行政について



一般質問はこちら



中村 和彦 議員

- 地域経済の活性化について
- 高齢者福祉について
- 環境分野の諸課題について
- ヤングケアラーに対する今後の支援策について
- 教育分野の諸課題について



一般質問はこちら

ヤングケアラーに対する今後の支援策は

代表質問

ヤングケアラーは家族の介護や世話をしている子どもたちであり、学業の遅れ、進学や就職をあきらめるケースも見られ、大きな社会問題となっています。

これまで本市では、ヤングケアラーに対する認知度の向上、啓発に力を入れてきましたが、直接的なサポートも必要と考えます。今後、本市ではどのような取組を計画しているのか伺います。

答弁

本市では支援を要する児童生徒に対し、要保護児童対策協議会や教育福祉懇話会などのほか、学校やスクールソーシャルワーカーとの情報共有や訪問を行い、福祉サービスなどにつなげています

今後は、日常生活の負担軽減が必要であるため、相談体制の充実とともに、子育て世帯訪問支援事業等について、令和6年度中に他市の先進事例を調査していきます。



佐々木 重信 議員

- 市政についての市長の考えは
- 寄付金もらわず地元業者を育てるのが行政であると捉えるが、市長に関わる団体で受領されていた寄付金等について
- 市民に優しい行政であると思料されるところの、市長に寄り添うのではなく市民に寄り添う行政を行っているのか
- 井頭温泉などのリニューアルについて



一般質問はこちら

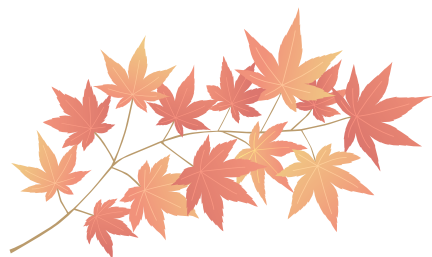
市長に関わる団体で受領されていた寄付金等について

質問

市長は就任から令和3年までの5年間に、多額の寄付金収入を受けられましたが、6月議会で寄付を受けることをお止めになられたとの答弁でしたが、止めた理由を伺います。

答弁

寄付については、政治団体への寄付であり、団体の多くは解散しています。





大隈 広郷 議員

- 10月から始まる新型コロナワクチン（mRNAワクチン）定期接種に関する懸念点、及び予防接種被害認定制度について
- 真岡市総合体育館及び周辺施設の設備投資について



一般質問はこちら

新型コロナワクチン（mRNAワクチン）について

質問

新型コロナワクチン（mRNAワクチン）による死亡や副作用を起こす事例が真岡市及び県内でも多く発症している現状、また市内でも副反応疑いの報告事例が25件、死亡事例を含む予防接種被害申請で受理されたのが8件ある現状について、市の見解を伺います。また、ホームページで新設された「副反応と健康被害救済制度について」の更新頻度を伺います。

答弁

予防接種につきましては、極めてまれではあるものの、健康被害が起こることがあり、それらを完全になくすることはできないことから、国において救済制度が設けられています。

本市における健康被害につきましては、この健康被害救済制度に基づき、適切に対応していきます。

また、ホームページにつきましては、国や県から新たな情報が入り次第、随時更新しています。



市井 元 議員

- 水道事業の今後について
- 複合交流拠点施設（モナカ）周辺整備と利用内容について
- カスタマーハラスメント問題について
- 市道の草の除去について
- 真岡鐵道飲酒基準超え問題について



一般質問はこちら

真岡鐵道飲酒基準超え問題について

質問

真岡鐵道の男性運転士がアルコール検査で基準値を超える数値が出たにもかかわらず、SLに乗務したという問題は、市民の皆様に大きな衝撃を与えました。この事態は、真岡鐵道を応援してくださっている多くの皆様の信頼を裏切るものであり、二度とあってはならないことであります。

この問題に対する市の対応についてお伺いします。

答弁

真岡鐵道株式会社では、アルコール検査体制の厳格化や、検査マニュアルの見直しなどの再発防止策と、組織体制の見直しや、社内教育の充実など、乗客の安全輸送に必要な改善策を国土交通省関東運輸局に報告しています。

今後は、栃木県及び沿線自治体と連携し、再発防止策や改善策の確実な実施と、地域の重要な公共交通機関として安心して利用できる運営体制となるよう、強く要望していきます。



七海 朱美 議員

- 公園について
- 小中学校の体育館へのエアコンの設置について
- 避難所となる市内の体育館の空調機設置について
- 中学生に対する平和教育について
- 真岡市における有機農業について



一般質問はこちら

「みどりの食料システム戦略」への今後の取り組みは

質問

栃木県内では、小山市、市貝町、塩谷町で有機農業実施計画を策定し、「オーガニックビレッジ宣言」等、有機農業における取組がされています。本市でも令和5年2月に関東農政局生産部の担当職員を招き、第1回目の有機農業セミナーを開催し、同年9月には体験型のセミナーも実施し、令和6年度も2回のセミナーを計画しています。国も県も背中を押している「みどりの食料システム戦略」への取組について伺います。

答弁

本市において、「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、有機農業の推進や農薬等の使用量抑制による環境負荷低減などの取り組みを進め、持続可能な地域農業を実現していくためには、生産者や関係機関と連携した推進体制が必要であると考えていますので、今後、推進体制の構築に向け、関係機関等と協議を進めていきます。

※みどりの食糧システム戦略…持続可能な食料システムの構築に向け、国が策定したもの。中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取組とカーボンニュートラル等の環境負荷軽減のイノベーションを推進することを目的としている。



日下田 喜義 議員

- いがしらリゾートについて
- 文化芸術活動の推進について
- 小規模小学校の維持について



一般質問はこちら

井頭周辺エリアの活性化に向けた事業内容や今後の展望は

質問

観光と文化と安らぎの施設が自然に溶け込むようにバランスよく配置されており、ペリテンライブが開催されるなど、安らぎと楽しさを感じてもらえる井頭周辺エリアにおいては、令和6年10月にいがしらリゾートアウトドア秋フェスが開催されます。市内外からの多くの来場者で賑わうことが期待されますが、更なるエリアの活性化に向けた今後の事業内容や展望はどのようなものになるか伺います。

答弁

今後は、エリアの中心的施設である井頭温泉及びチャットパレスのリニューアルを足掛かりに、エリア内の特色ある施設を一体的に活用したソフト事業の充実を図ります。

また、本市の観光拠点とするだけでなく、栃木県を代表するリゾートエリアとなるべく、ブランド価値が高まるよう、引き続き、栃木県等と連携を強化し、エリア全体を活かした魅力ある事業を段階的に進めていきたいと考えています。



柳田 尚宏 議員

- 道路整備について
- 学校給食について
- 妊産婦への助成制度について



一般質問はこちら

市道113号線の更なる延伸を

質問

市道113号線道路整備工事について、中村南部道路整備促進協議会発足当初、第四工業団地北側入口までではなく、にのみや道の駅の西側付近まで南進すると伺っていましたが、実際には第4工業団地北側入口付近までの延伸となりました。そこで市道113号線竣工後、更に南に延伸する考えはあるか伺います。

答弁

市道113号線開通により、安全な通学路や円滑な交通の確保、地域間交流の増加、真岡てらうち産業団地へのアクセス向上等、地域の更なる活性化に繋がるものと考えています。

延伸事業については、地域の方々の総意に加え、利便性や安全性、費用対効果のほか、市道113号線の開通後及び一般国道294号二宮拡幅事業完了後における周辺地域の交通状況の変化など、総合的な観点から、道路整備について検討していきます。



服部 正一郎 議員

- 地域公民館について
- 多岐にわたる盗難被害について
- 森林環境譲与税の使途について
- 特定外来生物の農業への被害対策について
- 一般県道西小埴真岡線小林工区について



一般質問はこちら

地域公民館の備品購入に対する助成は

質問

地域公民館は、様々な活動を通して年齢や立場を越えて、地域のコミュニケーションを図り、郷土意識を育てる大切な施設ですが、改修や備品の購入、その他の諸経費については受益者負担となっているため、地域の経済負担が重荷となって、そのまま放置されている状況にあります。そこで、地域公民館における椅子やテーブルなどの備品購入に対する助成金があるか伺います。

答弁

地域公民館の備品に対する助成については、宝くじの社会貢献広報事業を活用し、地域公民館から希望を募り、年間250万円分の備品を購入し、配布しております。

この事業は、市内5地区を順番に実施しており、今年度は山前地区に希望を募り、椅子やテーブル及びテレビなどの電化製品を助成しました。

各地域公民館においては、5年に一度の募集となりますが、ぜひご活用いただきたいと考えています。



鶴見 和弘 議員

- 通学路を伴う生活道路について
- 総合運動公園整備事業について
- 新紙幣対応の機器導入について
- 市内小・中学校の校庭への車の乗り入れについて



一般質問はこちら

市内小・中学校の校庭への 車両の進入による児童生徒の安全対策は

質問

児童生徒送迎の際の校庭への車両の進入により、児童が車両と接触する危険性や、車両同士の事故が発生する可能性が考えられます。

また、校庭に轍が出来ている為、体育の授業や休み時間に足をとられて怪我をした児童生徒もいたと伺っています。

先生方も安全対策に努めていますが、限界があります。

そこで、車両の進入による児童生徒の安全対策についてどのように考えているのか伺います。

答弁

学校敷地内の駐車場の位置が、児童生徒の登下校の動線と重なる時や、広さが不十分で駐車場を送迎用に利用できないと判断した場合などに、やむを得ず、校庭、グラウンドへの乗り入れを行っていると思われます。

今後、新たな駐車スペースを確保することについては、現時点では考えていませんが、必要に応じて、ルールの見直しを行うなど、各学校で検証を行うよう指導していきます。

常任委員会の審査から

常任委員会で審査した議案等について、主なものの概要を掲載します。

9月19日(木)・20日(金) 総務常任委員会

議案第59号 真岡市複合交流拠点施設の設置及び管理条例の一部改正について

質疑 主な改正内容は何か。

答弁 開館時間及び休館日を規定したほか、会議室の使用料と還付の規定を設けたものである。還付のケースとしては、すでに使用料が納入された予約のキャンセルを想定している。

⇒全会一致で可決

9月17日(火)・18日(水) 産業建設常任委員会

議案第56号 真岡市公園条例の一部改正について

質疑 条例を改正することで、公園に放置された自動車等の工作物を撤去できるようになるということか。

答弁 都市公園法に基づき、所有者がわからないときに、放置車両等の工作物を撤去できるようにするものである。

⇒全会一致で可決